

馬毛島のニホンジカにおける個体数の推定結果について

1. 推定結果

馬毛島のニホンジカ個体数について、比較的開けた場所での目視調査と、樹林内等に設置したセンサーカメラを用いた調査の2種類の調査を行いました。調査結果を分析したところ、島内には現時点で1000～1200個体程度が生息していると推定しました。※

※比較的開けた見通しの良い場所でシカが多い場合は、見通しの悪い樹林内等にシカは少なく、比較的開けた見通しの良い場所にシカが少ない場合は、見通しの悪い樹林内等にシカは多いと考えられることから、（目視調査の低値＋センサーカメラの高値）～（目視調査の高値＋センサーカメラの低値）として考え、推定したものです。ただし、夏季の目視調査による確認個体数は、シカの多くが草地等の日陰に潜んでいたものと考えられるため除外しています。この推定手法は、環境影響評価書において、専門家の意見も踏まえた上で採用しているものであり、今般の推定結果についても専門家の確認を経ています。

2. 調査結果の詳細

・目視確認によるシカの個体数（見通しの良い場所）

季節	調査日	確認個体数	天候
春季	令和5年4月12日	869 個体	晴・弱風
	令和5年4月13日	855 個体	晴・弱風
夏季	令和5年7月9日	233 個体	晴・無風
	令和5年7月10日	277 個体	晴・無風
秋季	令和5年10月22日	938 個体	晴・弱風
	令和5年10月23日	922 個体	晴・弱風
冬季	令和5年12月23日	969 個体	晴・弱風
	令和5年12月24日	1209 個体	晴・弱風

※夏季調査日は確認個体数が他の季節と比較して少ないが、シカの多くが草地等の日陰に潜んでいたものと考えられます。

・センサーカメラを用いた調査によるシカの推定個体数（見通しの悪い樹林内等）

確認調査季節	低値	高値	中央値
春・夏・秋・冬	63 個体	158 個体	99 個体

※春季の調査は令和5年4月から5月、夏季の調査は同年6月から7月、秋季の調査は同年10月から11月、冬季の調査は同年12月から令和6年1月の間に、それぞれ約1か月間実施したものです。

（以 上）